

総務常任委員会

○平成27年度宇都宮市
一般会計予算

一般会計予算

議案の概要 総務費で、

市庁舎等管理費、情報ネットワークワークシステムの運用などに要する情報化推進費、電算処理に要する情報システム費などを土木費で、LRTの整備に向けた、軌道事業者による技術的なアドバイザリー業務委託などに要する経費などを計上するもの。



▲中心市街地南循環線バス

質疑 LRT整備推進費でアドバイザリー業務委託など6千万円余が計上されているが、具体的にどのような業務内容か。

説明 今後、軌道事業の特許取得や工事施工認可などの事務を円滑に進めていくため、民間軌道事業者から軌道施設などの設計に関することや関係機関との協議・調整に当たっての指導・助言など、専門的な技術・知識を踏まえたアドバイスをもらうものである。

意見 LRT事業の全体像や総額が明示されておらず、事業に対する市民の理解度を把握する必要がある中、軌道の詳細設計などが着々と進められようとしていることは甚だ疑問である。

委員会の結論 起立採決の結果、原案のとおり可決。

厚生常任委員会

○平成27年度宇都宮市
一般会計予算

一般会計予算

議案の概要 総務費で、

河内地域自治センター及び河内生涯学習センターの合築工事に要する河内地域自治センター建設継続事業などを、民生費で障がい者の自立を支援するための障がい者自立支援費、高齢者の入所・通所施設整備などの補助等に要する老人福祉施設運営等助成費などを、衛生費で、インターネット・コールセンターを活用した予約受付体制整備等に要する健康診査費などを計上するもの。また、継続費について、上河内地域自治センター大規模改修事業などに設定するもの。

説明 大規模改修により、地域自治センターの機能は、1・2階部分に集約できるため、3階部分の有効活用策について検討を進めてきたが、地元住民との意見交換において、老朽化の進む民俗資料館の移設を希望する声があったことから、改修に伴う合築を決定した。

委員会の結論 起立採決の結果、原案のとおり可決。

宇都宮市ひとり親家庭支援手当支給条例の制定

議案の概要 ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に役立て、児童の心身の健やかな成長を図るため、これまでの遺児手当、児童福祉手当、母子家庭等児童入学祝金及び母子家庭等保護費の支給制度を見直し、新たにひとり親家庭支援手当を支給するもの。

委員会の結論 全会一致で、原案のとおり可決。

環境経済常任委員会

○平成27年度宇都宮市
一般会計予算

一般会計予算

議案の概要 商工費で、

中小企業の資金調達を円滑にし、経営の安定化を図るための金融対策費などを計上するもの。

質疑 栃木SCクラブハウス建設補助金の概要と、市を拠点とするプロスポーツチームへの支援に対する基本的な考え方について伺いたい。

説明 この補助金は、Jリーグのクラブライセンス取得に必要なクラブハウスの建設を支援するもので、交流イベントの実施など地域の交流拠点としての活用も考慮し、1千500万円を上限に補助するものである。また、市を拠点とするプロスポーツチームに対しては広報活動などの活動環境の向上に向けて、さまざまな支援を行っているが、今回と同様の事案が生じた場合は、具体的な状況を確認した上で、市の対応を検討していきたい。

委員会の結論 全会一致で、原案のとおり可決。

競輪特別会計予算

議案の概要 歳入で、137億4千500万円余の事業収入や他の競輪場で開催される特別競輪などの受託場外車券売り場開設に伴う競輪場貸付料などを計上し、予算総額を14億5千502万9千円にするもの。

質疑 今後も安定的に競輪事業を継続していくため、どのような取り組みに力を入れていくのか。

説明 競輪ファン減少、高齢化などに伴い、非常に厳しい状況を迎えているものと認識しており、諸経費の縮減を図るとともに、開催の運営方法の見直しに取り組みなど、市の財政に大きく寄与する事業として、健全な運営に努めていきたい。

委員会の結論 全会一致で、原案のとおり可決。